

教科	保健体育	単元名	水泳
----	------	-----	----

本時のねらい

・参考動画や自分の動画、友だちからのアドバイスから、平泳ぎのキックの課題を自分なりに見つけ、解決方法を表現することでよりよい泳ぎができるようになる。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

・ペアの生徒に自分の泳ぎを撮影してもらうことで、フォーム等を客観的に振り返ることができる。
 ・ペアで撮影しあうことで、お互いの良いところや課題をアドバイスしあうことができる。
 ・泳ぎの動画を自分の端末に保存することで、何度でも確認することができる。

活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

・カメラアプリ（動画撮影）
 ・ロイロノート・スクール ・大型ディスプレイ（平泳ぎの参考動画の映写）

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ○体調の確認 ○本時の流れ、めあて確認 「平泳ぎのキックの課題を見つけよう」 	<ul style="list-style-type: none"> ・参考動画のポイント「引き付け」「蹴り」を意識して泳ぐようにする。
展開 (40分)	<ul style="list-style-type: none"> ○2人ペアで平泳ぎの動画を撮影し合う。 【写真1】 ○動画を確認し、自己のキックの課題を見つける。 ○ペアと共有し、互いにアドバイスを行う。 【写真2】 ○アドバイスをもとに再度練習を行う。 (25mを数本泳ぐ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・動画を撮る順番やキックのようすがわかる撮影方法を伝える。 ・参考動画の動きと自分の動きの違いを確認することで、自分の課題がわかりやすくなる。 ・見つけた課題やアドバイスをもとに、そのポイントを意識して泳ぐようにする。
まとめ (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ○授業の振り返り（ロイロノート・スクールで動画と課題で提出） 【写真3】 ○体調の変化の有無の確認 ○次時の確認 ○整理体操 	<ul style="list-style-type: none"> ・動画を見ながら、課題と解決方法に分けて書くことで、自分を客観的に見ながら考えをまとめていくことができる。

1人1台端末を活用した活動の様子



【写真1】 平泳ぎをペアで撮影している様子



【写真2】 泳ぎ方をアドバイスしあっている様子



【写真3】 ロイロノートの提出内容

児童生徒の反応や変容

・泳ぎを撮影してもらうことで自分の泳ぎを見ることができ、より客観的に自分の泳ぎを振り返ることができた。
 ・動画を見ながらアドバイスしあうことで、より具体的な改善点を指摘することができた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

・参考動画や自分の泳ぎの動画、ペアからのアドバイス、教師からの助言など、多角的な方法から得た情報をもとに、よりよい泳ぎをめざすことができた。
 ・キックがわかるよう撮影方法を指示することで、本時の課題を意識させながら泳ぎに取り組むことができた。